

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話し合った内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>理念は事業所内に掲示、各自の名札にも明記し朝礼時に唱和して気持ちを引き締めて業務に入っている。一年を通して、理念をテーマにした研修を行い、職員全員で意識統一を図り、統一された質の高いケアが提供できるように努めている。理念については、各職員がそれぞれにテーマを掘り下げ、利用者様にとってどのようなケア者でありたいかを考え、スタッフ会議で発表し、他の職員に自分の想い・目標などを知ってもらう事で自分自身の向上に役立てている。</p>			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>地域の一員として、ゴミステーションの清掃や苑だよりの回覧を継続して行っている。地域の神社や商店などに足を運び、交流を深めているが、コロナ禍の影響で機会は減った。また、認知症サポーター養成講座や地域のミニケアネット（地域の施設・医師・市が参加している認知症の理解を深める会）にも Zoom で参加している。伴走型支援も市と連携しながら準備を進めている。</p>	<p>・コロナ禍で交流に制限がある中、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるように事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。医療介護連携のネットワークにも積極的に参加し、若年性認知症の本人と家族の交流会でもグループホームとしての役割を果たしている。運営会メンバーに区長をはじめ民生委員など地域に密着した方々を構成委員として設置している。代表者自らが認知症サポーター養成講座に参加して地域と深い交流がある。今後、利用者・その家族や関係機関に留まることなく、将来利用者となりうる地域の方々にも介護施設の実態を情報発信し、理解と協力を構築することも必要だと思う。</p> <p>・地域とのつながりは必要であり、今後も前向きに取り組んで欲しい。</p>		

3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>今年度は、通常通り苑での対面方式で実施している。運営推進会議では、入居状況、生活の様子、インシデント報告、行事報告と、テーマを決めてのディスカッション形式での会議を行っている。現場のリアルな声を届け、意見交換や交流を持つことで、質の高いケアが提供できるように努めている。今後は外部評価をいただく場として活用していく為により家族・地域との関係性を構築していきたいと考えている。</p>	<p>・利用者の個別ケアの取り組みや行事等から、利用者の様子が分かりやすく伝わる工夫がなされている。利用者の事故・ヒヤリハット・研修などの内情をオープンにする場合は重要であり、発表内容にも、処理結果、家族が喜ばれたこと、また反省すべき点があったことも公表し、運営の力としている。コロナ禍で会議自体の開催の頻度は減っているが、回を重ねるごとに和気藹々と言いたいことが言える関係性があり、意見交換が出来る雰囲気になりつつある。毎月テーマを決めて情報交換することで、更なるサービス向上に活かしている。利用者も出席し交流が出来る。</p> <p>・市の担当者や包括等、出席され、色々な情報交換の場になっている。</p>		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>2か月に1回の運営推進会議には、市の担当者と包括支援センターの方には必ず出席していただいている。必要時には連絡を取り、相談し情報や助言をいただける協力関係ができている。外部評価を運営会議活用するためにも美祢市本庁からも会議に参加して頂けるよう声掛けを継続していく。介護算定などで分からないことなども問い合わせして指導・助言をいただいている。</p>	<p>・市町村担当と日頃から連絡を密にとって協力関係を築くとともに、運営会議でも、市・消防・包括などの出席で、指導助言や関係機関への要望等、率直に意見交換が出来る。利用者支援に必要な制度の理解等、電話または来所で適切に相談している。運営会議に市の担当者が少ないと思う。もっと積極的な意見交換も必要だと思う。</p> <p>・市町村との連携は出来ていると思う。インターネットを介しての情報共有出来る事が望ましい。</p>		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>「身体拘束その他行動制限廃止マニュアル」を作成し、委員会を定期的かつ必要に応じて実施している。研修についても身体拘束の内容や弊害について再確認しながら、スピーチロックなどのグレーゾーンの研修も行っている。日中の玄関の施錠は行わず、見守り・付き添いにて安全を確保し、拘束をしないケアに取り組んでいる。やむを得ない身体拘束の必要時にはご家族に説明・ご理解いただいた上で、身体拘束解除に向けて日々取り組んでいる。新入社員に対しても研修を行い苑の方針を理解した上でケアにあたるように努めている。</p>		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>マニュアルを作成、定期的に委員会が開催され、職員の研修を通じて、身体拘束を行わないケアの取り組みができている。今後も身体拘束のない介護を継続するために対策を考えたり、デジタル介護の活用でケア者の悩みを和らげる方法も検討されるとよい。</p>

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「高齢者虐待防止マニュアル」を作成。研修では虐待の理解はもちろんアンガーマネージメントについても勉強し、日々のケアで自己を振り返りストレスからの虐待の危険に向き合うようにしている。心ならずも虐待と感じる場面が見受けられた時には、職員間で注意し合える関係性を作るようにスタッフ会議を活用して、抱えている不安を吐き出せる時間を作り皆で共有し、一人で抱え込まない環境づくりに努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マニュアルを作成、研修やスタッフ会議にて、虐待防止について学ぶ機会を作り、防止に努められている。また、情報共有できる職場環境づくりができており、職員のストレスが、利用者への身体的、心理的虐待につながらないように、職員の心身の安定と業務負担の有無、認知症の理解への取り組みなどの職員のケアにも力を入れ、又、外部にも具体的な取り組みが分かるよう発信してほしいが必要と思う。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、日常生活自立支援事業をご利用の方が2名おられる。利用者様の財産、尊厳が守られる支援を継続したい。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居契約書と重要事項説明書を入居時に説明と共に、締結していただき、環境が変わった上で、起こりうる不安等も意見交換できるようにする。料金改定などあれば文章作成し変更届に押印を求め、不明な点は何時でも連絡して頂けるように書面にも記載して送付している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見箱の設置、第三者窓口を社協にお願いしていることを契約時に説明。ご来苑時や運営会議への参加の際にお声掛けして意見や要望等を伺い、直接頂いたご意見は、スタッフ会議で都度取り上げて改善し、運営会議にてご報告している。 苦情受付の書面を作成し、定期的に家族様に送付。いつでも苦情や不安事項に対して受付出来るオープンな環境に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の家族が、意見・要望を言いやすい環境づくりに努められ、運営会議にて外部者へ表せる機会も設けられている。寄せられた意見をケースごとに集計して公開したり、内容によっては家族が言いにくい場合もあると思われるので、第三者委員会を構成設置してみてもどうか？ 委員会の設置については、他施設を参考にするためにまず、交流を持つことから始め、具体的に考えてみてはどうか。 いただいた意見を今後取りまとめ発表してはどうか。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の業務の中で、常勤正社員は職員の意見を吸い上げて、ケアポイントミーティングや月に1回のスタッフ会議で話し合い、改善に努めている。意見が上がれば何度でも検討して業務改善に努めて			

				いる。新人もノートを作って振り返り、不安や疑問を明確化することで聞き取りやすくしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	就業時間内に業務が終わるように時間の使い方についてもスタッフ会議を利用して業務改善に努めている。職員間でコミュニケーションを深めるために大切な共有すること・声を掛け合う事を意識し、各館3人で協力している。ケア経験者は率先して新人に対しても指導を行い、信頼関係を深められるように努めている。国家資格などの資格取得にも本人の希望があれば協力する環境も整っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	スタッフ会議で業務改善について話し合い、職員間のコミュニケーションを深めることにより、就業環境の整備に努められているが、問題点を外部とも共有し、関係機関との協働によって、職員の負担が減る仕組みの構築できればいいと思う。時間内に業務を終えられるように更なる業務改善の継続が必要だと思う。どの施設においても就業時間、人で不足、長続きしないなど、介護全体の問題である
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	理念に関する目標を発表することで、個々の目標が明確になり、ケアの質・技術の向上にも役立っている。ケア雑誌「おはよう21」を活用したプチ研修を順番に全職員で実施することにより、実践に役立つ生きた研修が出来ている。職員のケアの技術の底上げにも役立っている。コロナ禍のため苑外研修の参加は減っているが、管理者研修・実務者研修など個別で参加出来き、自己研鑽に反映できる研修には積極的に参加している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員一人ひとりの力量に合わせて、法人内外の研修に参加する機会が確保されている。多職種連携会議にも積極的に参加されているが、職員全体がスキルアップするため、より多角的な研修も必要だと思う。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	Zoomを利用し、みにケアネットの参加をし、同業者だけではなく多職種の方々との情報共有や、サービス向上のために勉強会などに参加している。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者様の生活歴をしっかり理解することで本人の得意分野や出来る力に目を向け、出来る力を十分に発揮できるようにケアに当たっている。入居しても本人が生活に諦めることの無く、苑生活での「生きがい」を見つけていただけるように努めている。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>コロナの感染対策を行いながら、行きつけ美容院や商店にも出かけて頂いている。ご家族や古い友人との面会など、時間制限しながらも、少しでも顔を見ながらお話していただき、馴染みの関係が途切れないようにしている。</p> <p>季節の便りなどを活用して利用者様の出したい方にはすべて送れる支援をしている。</p>	<p>・馴染みの場を大切にしている姿勢は感じている。入所前の利用者の生活様式を把握し、尊重している。感染症に配慮しながら、面会を行ったりドライブ・地域の行事にも参加している。利用者が職員とスーパーなど買い物に出かけている様子を見かけ、寄り添った支援が出来ていると感じた。外出支援で旧友や商店の方と接するのは利用者にとってとてもいいこと。引き続き、関係継続に努めてもらいたい。コロナ禍、面会にも努力している。</p> <p>・コロナ前は親戚や友人とも面会でき一緒に過ごせて良かった。今後、コロナが緩和される方向。臨機応変の対応で良いのではと思う。</p>		
----	------------------	---	---	--	--	--	--

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>入居時には担当の居宅ケアマネより情報を頂くと共に、センター方式を利用してご家族様にもご協力を頂き、本人・ご家族の思いや生活歴等の把握をするように努めている。入居後には職員が、本人からの聞き取りや日々の言動や行動から思いの把握に努め、担当者が定期的にセンター方式を更新している。日々の生活の中で気付いたことや言動を、アセスメント表や個人記録に記入し、変わらぬ思い、変わりゆく思いを共有できるようにしている。意向の把握が困難な方には、表情や行動などから思いを探り、ご家族様の意見も参考にしながら職員間で検討している。</p>			
----	----------	--	---	---	--	--	--

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>本人の意向を聞いた上で、電話や手紙・面会等を利用して家族の思いを把握、受診時の主治医の意見も参考に、本人・管理者・担当スタッフ・計画作成者を中心に、1ヶ月に1回または必要に応じてモニタリング、カンファレンスを行い、3ヶ月毎に介護計画を見直している。状態に変化があればケアミーティングを設け、現状に即した介護計画を作成している。介護計画は、利用者様・ご家族・担当スタッフ</p>	<p>・利用者がより良く暮らしていくために、3か月ごとに介護計画を見直している点が重要。状況の変化に応じてケアミーティングに取り組むことでケアの質の向上に努めている。利用者や家族から思いや意向を聴き、主治医の意見を反映した、現状に即したきめ細かい介護計画を作成している。運営会議で出た意見を「すぐやる化」で計画実行している。今後、利用者の症状の変化を見逃さず、職員間での共有・対応が必要不可欠。</p>	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>介護計画は3か月毎にチームで見直され、その都度、状態に応じてケアミーティングが開かれて策定されている。本人の意向を尊重され、職員間・他機関と積極的に情報交換を行い、介護計画に反映されている。</p>
----	--------------------	---	---	---	---	---	--

				フにも配布すると共に個人記録表にもセットし把握しやすいようにして、日々のケア担当者は介護計画に沿ってその日の目標を決め、実行・評価を行っている。	・介護計画も密にきめ細やかに継続されている。近況報告の手紙も同封され、状況がよく分かり安心。		
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の言動や状態の変化は、その日のケア担当者が個人記録表やアセスメント表に記入し、特記事項はリーダーが介護業務日誌に記入して、管理者へ報告し共有している。変化の激しい方・しっかりケアを行き届かせる必要のある場合には、別紙ケア記録に状況の詳細を記入し情報を共有、それを基にケアプランの見直しに役立っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人記録表を作成、利用者の日々の言動や状態の変化は記録され、状況をきめ細かく把握することでケアプランの見直しに役立てられている。不測の事態が発生した際も、記録に基づき説明と理解を得ることができる。記録を全職員が共有して、利用者のサービス向上につなげてほしい。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年もコロナの影響で利用者様を取り巻く環境は厳しいものであった。認知症だから難しい、コロナだからできないではなく、「できる」支援を模索する毎日であった。昨年の経験から受診・外出・面会・冠婚葬祭などご家族の状況に合わせて、制限のあり方にも柔軟性を持たせ、付き添い支援やオンラインの活用など関係者・関係機関とも連携して思いの実現に努めた。	・コロナ禍においてもオンラインの活用等工夫しながら取り組み、可能な限り利用者や家族のニーズに臨機応変に対応している。会うことのできない家族との面会にオンラインを活用したり、感染に注意しながらの葬儀への参加など、思いの実現に向かって対応されている。「柔軟性」がポイント。既存の繰り返しから更なる脱却を期待する。健康状態など日常の連絡を家族にメール報告出来ないか。 ・取り組んでいると思う。職員が増える事を希望する。パート職員の多様性はどうか。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの影響にて、定期的な演芸ボランティアの来訪は昨年に引き続き控えざるを得なかったのは残念だったが、近隣の馴染みのスーパーやホームセンター・美容院・道の駅などには個別に行くことが出来た。7月に芸術村にて代表参加のコンサートには感染対策としてマスク・席をまとめる等に気を付けて参加・鑑賞。感動して涙を流される利用者様も居られ、ひと時の癒しの時間を皆で過ごすことが出来た。また避難訓練の際に、消防署のみではなく地区の消防団員の参加も頂いた。	・市内及び隣接の四季折々の美しい自然環境を利用した外出、地区のお祭り等に参加している様子が「のぞみ苑だより」でわかる。更に、安心安全な施設維持の各種訓練を定期的実施されることを希望する。行動制限のある中でも、利用者が心身の力を発揮し、安全で豊かな暮らしを楽しむために、散歩・畑作業など、少しでも潤いのある生活が出来るように支援している。あらゆる地域資源を結びつける中心的存在を期待している。何か基準を決めて、ボランティアを受け入れる事も必要。 ・よく出来ていると思う。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>基本的には入居前からのかかりつけ医を継続され、受診時にはご家族が付き添い、当苑での生活状況を書面にて医師に伝えるようにしている。ご家族の付き添いが難しい場合は、苑スタッフにて付き添いまたは電話による受診対応を行っている。苑の協力医をかかりつけ医とされた場合は月2回の訪問診療、歯科については必要に応じて往診して頂いている。入居時には夜間や休日などの緊急時の救急受け入れ先の希望を、第1～第2希望まで伺っておき、スムーズに対応できるようにしている。受診結果は電話や面会時にご家族に伝え、職員間はカーデックス・個人記録表に記録し共有している。</p>			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>入院時には、医療機関に直前までの生活状況と認知面での特徴やその人に合った苑での対応方法等の情報提供をしている。コロナの影響で病院での面会はできなかったが、ご家族や地域連携室等から情報を聞き取り、退院に備えた。入院中に認知症により身体拘束が必要となられた方については、拘束による身体能力の低下・認知症の悪化を防ぐため、早期の退院ができるように苑の協力医にも相談し、早期の退院受け入れ体制を整えた。退院前には地域連携室と密に連絡をとり、退院カンファレンスに同席して退院後の生活が円滑にいくよう、情報を共有しケアプランを立て支援に繋げている。</p>		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>入退院の連携に努めていることで、可能な限り、環境の変化による本人の不安の軽減を図ることができ、情報の共有によりケアの継続性が図られている。病院との連携、情報交換も良好で、病院関係者との協働もできている。</p>
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>入居時に意向確認書についてご家族に説明し重度化・終末期について意識付けをしている。終末期を迎えるにあたりご家族には、苑にて過去に行った支援の事例を交えて説明し、ご本人の思い・ご家族の思いに沿ってできる限りの支援が行えるよう、医療機関や他施設への支援も含め方針を決め、スタッフ間で共有し支援に取り組んでいる。</p>		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>重度化や終末期の看取りについて、家族に説明することにより安心して施設の利用を続けることができていると思う。本人や家族の意向も確認しながら支援されている。運営会議でも数件の発表が行われており、継続して看取り支援の事例報告を外部に発信してもらいたい。 小さな変化に気づく力を養う職員のスキルアップを医療連携、家族</p>

							への連絡を迅速に対応されると、 家族は安心である。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	マニュアルの見直し、作成の実施。救命による緊急時の対応研修の実施。夜間対応、症状別対応のマニュアルを整備、全職員に配布、各事務所に掲示。スタッフ介護を活用し、職員間での共有実施。今後は職員の練度を上げ、統一した対応ができるよう研修を重ねる。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>非常時に備えての電話による緊急連絡網の流れの確認実施。当苑は自然災害危険地域に指定されていないため、苑待機が基本。職員の通勤経路が遮断される可能性を考え、第二・第三経路、迂回経路を各職員が書き出し、スタッフ会議でどのくらいの時間で平常業務が可能になるかの検討をした。</p>	<p>●定期的に消火・通報・避難訓練・避難経路等、全職員で確認している。避難訓練は、色々な想定で訓練し、全職員で情報共有できている。防災意識も高く、地域連携（消防団）も築いている。不測の事態がいつ発生するかわからない現在、苑のマニュアルに沿った対応、些細なことでも見直す点は、検討し見直しを実施すること、事案に対して大きく立ち上がり迅速に行動することを希望する。停電対応も考える必要がある。</p> <p>●地域との連携はよく、今後も継続してほしい。</p>	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>避難訓練は、色々な想定で訓練されており、全職員で情報が共有できている。緊急連絡網や職員の通勤経路を複数考えるなど、災害対策はできている。防災意識は概ね高めだと思うが、予想をはるかに超えた災害も考慮し、実際の避難・援助の体制が取れるように対策を講じてほしい。</p> <p>人命を一番に考え、非常時に冷静に行動出来る訓練をしてほしい</p>
----	------	---	---	--	---	---	--

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>○声掛け一つで尊厳を傷つけてしまうため、ベテラン職員から新人職員へ、利用者様がどのような事に対してご不安があるか、人格や個々の価値観を尊重し、敬い、特に言葉遣いには十分配慮し、不快にならないような声掛けを指導している。その方が、何を一番求めているか、「寄り添い」を職員間のモットーとして引き続き支援できるよう、まずは本人様の生活歴や大切にされている価値観の把握の共有に努め、基本ケアを徹底、声掛けを統一したケアが行えるように研修やミーティングを行っている。</p>	/	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>尊厳を持って利用者に向き合い、言動にも配慮がなされ、利用者の生活歴や価値観などを職員間で共有、支援されており、一人ひとりの人格を尊重した関わり、声かけができている。プライバシーの確保もできている。全職員が情報を共有して、同様の対応ができるように心がけてほしい。</p>
----	--------------------	---	---	---	---	---	---

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>○本人様のペースで生活していただけるように、ストレスになる要因をなるべく取り除き、安心して生活していただけるように支援している。日課やお好きな事(散歩、読書、趣味、リハビリ等)を生活のパターンに取り入れて、寄り添いを行っている。御家族の支援できない事でも、利用者様の望みがあれば、御家族と相談しながらできる範囲での支援を行っている。朝が苦手な方や、夜間不安で休まれない方には、個別で寄り添いを行っている。</p>	/	/	/
----	--------------	---	---	---	---	---	---

28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>○食事のメニューは、利用者様の健康・好みを考え、献立を立案。苑で収穫した野菜や、差し入れの野菜を使い、利用者様と一緒に下ごしらえ、盛り付け、配膳、片付けまで行う支援をしている。苑内調理で、作る工程の音や匂いを感じていただき、職員も食卓を囲み、会話などでも食に対する楽しみを持っていただけるように支援している。季節の行事やお誕生日会には、その方の好みのメニュー、食レク(ケーキ作り、漬物作り、おやつ作り)等、利用者様と共に職員も楽しむ様にしている。恒例のお正月のお雑煮には、地域で収穫された小米餅で提供、利用者様からも喜ばれている。苑独自のおせちは毎回好評である。</p>	/	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>利用者と職員と一緒に配膳、片付けまでを行い、食事を楽しむことができている、一体感が感じられる支援をされていると思う。また、苑の畑で利用者と共に育てた食材を利用されており、豊かな食生活であることが見てとれる。今後も“食”を楽しめる支援を継続してほしい。</p>
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>○栄養スクリーニングを年に2回行い、栄養状態の把握に努めている。また、トロミやミキサー等、形状を変えて提供。栄養が取りにくくリスクの高い方へは、医師と協力してケアプランに取り入れ改善に努めている。利用者様一人ひとりの体調、月1回の体重測定による体重の変化を把握し、その方の状態に合わせて、お粥対応や味付け、食材の変更も行っている。</p>	/	/	/
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>○毎食後、個々に合わせた口腔ケア(うがいが難しい方へは、歯磨きティッシュやスポンジブラシを使用、口臭が気になる方へは、モンダミンなどを歯科医に相談の上使用)を行い、個々に合わせたブラシ選びやケアの仕方を考えて実施している。週に3回、ポリドントを実施。歯科医に口腔内の無料検診を行っていただき、口腔内の把握を行っている。「口腔ケアマネジメントに関わる計画書」を作成、歯科医、歯科衛生士の技術的助言を受けながら介助させていただいている。</p>	/	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>口腔ケアの重要性を重視して、歯科医、歯科衛生士と相談しながら、個々に合った口腔ケア、毎食後の清潔保持がなされている。高齢者にとって口腔ケアは大事なケアであるため、より一層のケアに努めてほしい。</p>

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>個々の排泄パターンやタイミングを把握するため、排泄時間を記録し、トイレ誘導の声掛け戸」寄り添いをし、自力で排泄が困難な時は腹圧をかけるなど介助を行っている。また、一人ひとりに合わせてパット類を検討、日中はリハビリパンツでトイレでの排泄を最優先にしている。日々の便秘予防として、体操、散歩を取り入れ、水分をしっかり摂取できるよう支援している。</p>	/	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>個々の排泄パターンを記録し、個々のタイミングを把握することで、排泄の自立に向けた支援ができています。便秘薬の使用に関しても、専門職からのアドバイスを受けながら、個々に合った対応に努められています。</p>
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>個人の入浴の願望を優先させ、マンツーマンで希望のタイミングで入浴を楽しんでいただけるよう支援する。入浴拒否のある時は、時間を置いて声掛け、石鹸を馴染みのあるものにして対応するなど、心のリラックスを心掛けている。体調に合わせ、清拭、足浴、手浴など、時間を問わず行っている。</p>	/	/	/
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>体調やその日の気分を確認し、日中は体操や散歩などをし、体を動かす支援のほか、料理や洗濯物たたみなど生活支援を行い、安眠に繋がるように努めている。冷えが気になる方には、入床前に足浴を行っており、眠れない時には職員とお茶を飲みながら傾眠・安眠へのアプローチを行っている。</p>	/	/	/
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>居宅療養管理を利用し、薬の管理をしていただき、薬剤師との連携を深めている。受診後の薬変更がある時には、目的・副作用などを質問し職員と共有、把握ができるように助言をいただいている。服薬後体調変化があればすぐに医師、薬剤師に相談している。一人ひとりがどんな服薬をしているか、薬の効果等一目で分かるようファイルを作成している。</p>	/	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>利用者がどのような薬を服用されているかについて、目的、副作用を職員が理解しており、疑問に思った時は問い合わせるなど、医師、薬剤師と連携しながら、薬の管理に真剣に取り組まれている。苑での管理の元、尚一層慎重な取り扱いを望みたい。</p>

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>できることはできるだけご自身で、個々に合った役割を持っていただき、生活歴を重視し、得意なことでは役割分担を行い、不得意なことは職員と一緒にチャレンジして、できることを増やして継続できるよう支援している。</p>	<p>●職員の多種多様な対応の中で、利用者の趣味趣向等をデータ化され、職員全員が共有している。利用者一人ひとりの生活歴や力を生かした役割を持ち、想いを確認しながら自主的に活動を楽しみながら取り組んでいる。</p> <p>●季節ごとの行事・支援は出来ている。一人ひとりが役割分担をし、張り合いのある日々を過ごしている。</p>		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>日常的に散歩や外出したい要望があれば一緒に、季節を感じて気分転換していただいている。地元のお店への買い物、行き付けの美容院、地域の行事にも参加できるよう支援を行っている。春と秋には本人の希望に沿ったドライブレクを計画。利用者様の楽しみに繋がっている。</p>	<p>●地域の方と交流する機会を出来るだけ持つよう取り組まれていることが、利用者の活動意欲の向上に繋がっている。「のぞみ苑だより」で外出先の出来事をいつも見ている。色々な活動を外部の者も楽しく知ることが出来ている。苑付近の散歩・野菜作り・地域の方の草刈り支援等、職員と地域の方との関係も良好と感じる。</p> <p>●本人の希望を把握し、外出等出来る限りの支援をされている。感謝している。</p>		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持し使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>基本的にお小遣いは事務所で預らせていただいているが、ご自分で財布を管理することを希望されている利用者様に関しては管理していただいている。財布残高も本人様と一緒に確認し、使用時はレシートをもらい使用状況把握している。</p>			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をし、手紙のやり取りができるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>年賀状や暑中見舞いで本人様のできることにチャレンジしていただき、送られたご家族も喜ばれておられる。ご家族と電話で話がしたいと要望があればリビングでゆっくりお話しできる空間を作りや、面会がなかなか難しい県外のご家族との zoom 面会では、利用者様もご家族様も顔を見て会話が出来る事で喜ばれ、「安心した」と喜ばれている。</p>			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共用の空間に常に生け花、観葉植物を絶やさないようにして、季節に応じたインテリア、季節感のある環境づくりを試みている。温度、湿度、照明に気を配り、リビングに穏やかな BGM をかけてストレスを感じない環境づくりに配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家庭的な雰囲気のもと、安全対策を講じながら、季節感、生活感が感じられる空間づくりができている。共用スペースには、生け花の香り、音楽、笑い声があり、グループ生活の場として居心地の良い環境づくりができていると思う。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	的確に素早く対応されているが、変化があった時、すぐに連絡をもらえる事で、家族ができる事を考えていきたい。受診につながらない事でも何か変化があればすぐに連絡がほしい
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人から苑生活について不満や不安の声はなく、家族の写真や趣味の作品を飾られている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○	●コロナ禍で感染対策や様々な工夫をしながらの外出、密にならない行事には積極的に参加している。職員が利用者と「一緒になって」をすごく感じて素晴らしいと思う。利用者の思い出に触れ、思い出すことで元気になっていると感じる。利用者への「思いやり」をこのまま継続してほしい。 ●イベント・行事等、計画実行するのは大変だと思うが、利用者の		

					個性に合った参加の仕方、利用者本人も楽しみにしている。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	のぞみ苑だよりで、日々の様子を知り家族として、新しい発見もあるが、職員との会話の中での発見、日々の細かな会話を伝えて欲しい 苑生活の中で色々な経験、体験をすることが、認知症の進行を遅らせたり、新しい発見につながっていると思う
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○	●利用者自ら食事の手伝いをしていることを聞き、高齢のため失敗・スピードを度外視した利用者のための行為だと感じた。「のぞみ苑だより」で交流等の様子を伺い知ることが出来る。活動の記録を外部の者が知る上で重要な役割を担っている。身近な交流を大切にしている。利用者の持つ力の活用、利用者の得意なこと等、丁寧に受け止めて行える環境作りが出来ている。 ●利用者の個性に合った参加をしている。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	○	●利用者・家族が苑での生活の継続を望まれて、心身ともに豊かに過ごされていると思う。新たな生活の場として、本人の希望を大切に、工夫された支援が提供できている。職員・地域の人々と親しみ、安心した日々、よりよい生活が出来ている。利用者にとっては自分の家での生活が一番だと思うが、日々楽しく安心して過ごせる苑作りを希望する。利用者自らの生き甲斐、天賦の価値を見つかる生活を見い出してほしい。薬等、医療の面からもしっかりサポートしていく。 ●色々な事にチャレンジして素晴らしい。声掛けや関わりを持ち、安心して生活出来ている。のぞみ苑だよりを見て、苑の様子がわか	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	SNS (LINE・メール程度) を家族との連絡に活用し、健康状態や日常の小さな変化、会話など様子を知らせてもらえると安心 苑内行事や食事会など、家族や外部の方を招いて開催するなど、交流が増えればよい

					<p>り安心出来る。スタッフが増えて欲しい。 認知症が進んだ母に「何がしたいか」「どう過ごしたいか」聞く事も感じる事も出来ないなか、1日も長く穏やかに過ごしてほしい事が一番の願い。そのために介助が必要。防げる怪我・病気に気をつけてほしい。</p>		
--	--	--	--	--	---	--	--